

遊 漁 船 業 者 登 録 票

氏名または名称

岩井富浦漁業協同組合

登録番号

千葉県 第7310018号

登録の有効期間

令和 5 年 4 月 27 日 から  
令和 10 年 4 月 26 日 まで

営業所の所在地

千葉県南房総市高崎1618

遊漁船の名称

岩井富浦漁業協同組合

遊漁船業務主任者の氏名

石井文敏、田村一春、平田政幸  
廣田博之、廣田実

損害賠償措置の有効期間

令和 5 年 10 月 1 日 から  
令和 6 年 9 月 30 日 まで

別表4（全2枚の1枚目）遊漁船の総トン数又は長さ、定員及び通信設備等

整理 番号	遊漁船 の名称	船舶番号等	総トン数	長さ	旅客定員	業務形態  主たる業務：◎ その他全て：○	
		遊漁船の使用形態（該当に○）					
		遊漁船の登録状況（該当に○）			通信設備の状況		
		船舶の所有状況（該当に○）			（該当に○）		
		遊漁船の連絡方法（無線の形式と周波数等）					
1	富山丸	232-47509	0.2 トン	4.82m	3人	(◎) 船釣り ( ) 磯渡し ( ) 筏渡し ( ) 防波堤渡し ( ) その他 その内容 ( )	
		( ) 遊漁船専用・(○) 漁船と兼用・( ) 他使用と兼用					
		(○) 単独登録・( ) 重複登録			( ) 無線		
		(○) 自己所有船舶・( ) 他者所有船舶			( ) 他の設備		
					(○) 設備無し		
		無線形式	周波数				
2	漁協1	232-47405	トン	7.43m	3人	(◎) 船釣り ( ) 磯渡し ( ) 筏渡し ( ) 防波堤渡し ( ) その他 その内容 ( )	
		(○) 遊漁船専用・( ) 漁船と兼用・( ) 他使用と兼用					
		(○) 単独登録・( ) 重複登録			( ) 無線		
		(○) 自己所有船舶・( ) 他者所有船舶			( ) 他の設備		
					(○) 設備無し		
		無線形式	周波数				
3	漁協2	232-47406	トン	7.47m	3人	(◎) 船釣り ( ) 磯渡し ( ) 筏渡し ( ) 防波堤渡し ( ) その他 その内容 ( )	
		(○) 遊漁船専用・( ) 漁船と兼用・( ) 他使用と兼用					
		(○) 単独登録・( ) 重複登録			( ) 無線		
		(○) 自己所有船舶・( ) 他者所有船舶			( ) 他の設備		
					(○) 設備無し		
		無線形式	周波数				
重複登録して いる場合の事由		( ) 多客期にチャーターするため ( ) その他 ( )					

注) 重複登録とは、他の事業者の遊漁船として登録されている船舶を、当該事業者の遊漁船としても登録しているものをいいます

別表4（全2枚の2枚目）遊漁船の総トン数又は長さ、定員及び通信設備等

整理 番号	遊漁船 の名称	船舶番号等	総トン数	長さ	旅客定員	業務形態  主たる業務：◎ その他全て：○	
		遊漁船の使用形態（該当に○）					
		遊漁船の登録状況（該当に○）			通信設備の状況		
		船舶の所有状況（該当に○）			（該当に○）		
		遊漁船の連絡方法（無線の形式と周波数等）					
1	漁協3	232-47514	トン	7.43m	5人	(◎) 船釣り ( ) 磯渡し ( ) 筏渡し ( ) 防波堤渡し ( ) その他 その内容 ( )	
		(○) 遊漁船専用・( ) 漁船と兼用・( ) 他使用と兼用					
		(○) 単独登録・( ) 重複登録			( ) 無線		
		(○) 自己所有船舶・( ) 他者所有船舶			( ) 他の設備		
					(○) 設備無し		
		無線形式	周波数				
2	漁協4	232-47513	トン	7.60m	5人	(◎) 船釣り ( ) 磯渡し ( ) 筏渡し ( ) 防波堤渡し ( ) その他 その内容 ( )	
		(○) 遊漁船専用・( ) 漁船と兼用・( ) 他使用と兼用					
		(○) 単独登録・( ) 重複登録			( ) 無線		
		(○) 自己所有船舶・( ) 他者所有船舶			( ) 他の設備		
					(○) 設備無し		
		無線形式	周波数				
			トン	m	人	( ) 船釣り ( ) 磯渡し ( ) 筏渡し ( ) 防波堤渡し ( ) その他 その内容 ( )	
		( ) 遊漁船専用・( ) 漁船と兼用・( ) 他使用と兼用					
		( ) 単独登録・( ) 重複登録			( ) 無線		
		( ) 自己所有船舶・( ) 他者所有船舶			( ) 他の設備		
					( ) 設備無し		
		無線形式	周波数				
重複登録している場合の事由		( ) 多客期にチャーターするため				( ) その他 ( )	
		( ) その他 ( )					

注) 重複登録とは、他の事業者の遊漁船として登録されている船舶を、当該事業者の遊漁船としても登録しているものをいいます

別表5 情報を収集すべき事項

<p>(1) 利用者の安全確保に必要な情報 (該当に○)</p>	<p>(○) 出航地における波高、風速、視程</p>
	<p>( ) 出航中止を判断する団体の出港判断に関する情報</p>
	<p>(○) 水路通報、気象・海上警報等官公庁の発する遊漁船の運航に関する情報</p>
	<p>(○) 乗船する利用者数 (12歳未満の小児が含まれる場合は、その人数)</p>
	<p>( )</p>
	<p>( )</p>
<p>(2) 漁場の安定的な利用関係の確保等に必要な情報 (該当に○)</p>	<p>(○) <b>法第15条</b>に基づき周知すべき内容について、案内する漁場を管轄している都道府県知事が提供している情報</p>
	<p>(○) 漁場利用協定や漁場慣行等について、案内する漁場を管轄する都道府県に設置されている水産振興審議会海面利用調整部会または海面利用協議会が提供している情報</p>
	<p>( )</p>
	<p>( )</p>





別表 8 安全の確保のため周知すべき内容及び方法

周知の方法 (該当に○)	周知する内容 (該当に○)
<p>(○)遊漁船に 周知内容を 掲示する</p> <p>( )乗船前に 書面を配布 する</p>	<p>一般的事項</p> <p>(○) 出航から帰航するまでの間、船長及び業務主任者の指示に従うこと</p> <p>(○) 遊漁船の航行中はむやみに立ち歩かないこと</p> <p>(○) 航行中、波の影響により船体が動揺することがあることから、動揺が比較的小さい船体中央より後方の部分に乗船すること</p> <p>(○) 天候急変時の帰航決定について船長の指示に従うこと</p> <p>(○) 救命胴衣及び救命浮環の保管場所及び使用方法</p> <p>( ) 落水者の船上への引揚げを補助するはしご等の保管場所及び使用方法</p> <p>(○) 乗船中は船室内にいる場合を除き、救命胴衣等(船に備え付けられ、又は持ち込まれた、船の種類や航行区域に応じて国土交通省が定める要件に適合するもの)を着用すること</p> <p>( ) その他 ( )</p> <p>磯等渡しの場合</p> <p>( ) 磯等渡し及び磯等の上においては救命胴衣等を着用すること</p> <p>( ) 磯等で緊急事態が発生した場合における遊漁船との連絡方法</p> <p>( ) その他 ( )</p>
<p>漁場において 口頭で説明する</p>	<p>一般的事項</p> <p>( ) その他 ( )</p> <p>磯渡し等の場合</p> <p>( ) 磯等からの帰航時間</p> <p>( ) 磯等で天候が急変した場合における避難場所</p> <p>( ) その他 ( )</p>

## 別表9 安全の確保のため船長及び業務主任者が遵守すべき事項

航行中及び利用者が水産動植物を採捕している間、船長と業務主任者は以下のとおり行動します（該当に○）

### 一般的事項

- (○) 出航から帰航するまでの間は、飲酒しません。また、酒気を帯びて漁場に案内しません
- (○) 航行中、波の影響により船体が動揺するときは、波の状況について適切な見張りを行うとともに、波に対する進路の変更を行い、かつ、安全な速力まで十分な減速を行うことにより、船体動揺の軽減に努めます
- (○) 航行中、波の影響により船体が動揺して危険が予想されるときは、利用者に対して動揺が比較的小さい船体中央より後方の部分に乗船するよう指導します
- (○) 乗船中は、船室内にいる場合を除き、救命胴衣等（船に備え付けられ、又は持ち込まれた、船の種類や航行区域に応じて国土交通省が定める要件に適合するものを用います。以下同じ）を着用します
- (○) 利用者には、乗船中は、船室内にいる場合を除き、救命胴衣等を着用させます
- (○) 利用者の乗降場所から漁場又は漁場から漁場までの間における岩場、浅瀬、防波堤、養殖施設等を調査し、危険性の評価を行い、特に危険と認められる場所について、**別表9の2**にとりまとめ、安全に航行できる航路、避険線等の設定を行います
- (○) 航行中はGPSプロッター等を利用して自船の位置を確認し、上記で設定した航路の航行、避険線に基づいた安全な航行を行います
- (○) 12歳未満の小児には、乗船中は、船室内にいる場合を除き、常時、救命胴衣等を着用させます
- (○) 気象又は海象等の状況の悪化等、利用者の安全の確保のために必要と判断される場合は、船室内においても利用者に救命胴衣等を着用させます
- ( ) その他 ( )

### 船釣りをする場合

- (○) 利用者を案内している間は、船長自ら釣りをしません
- ( ) 漁場が混み合っている場合は、船長自ら釣りをしません
- ( ) 船長以外に適切に見張りができる者がいる場合を除き、船長自ら釣りをしません

### 磯等渡しをする場合

- ( ) 利用者の安全確認のため、渡した磯等を定期的に巡回します
- ( ) 磯等において採捕を終了した利用者を収容し帰航する際、利用者が遊漁船に乗船していることを確認します

### 上記以外（観光定置網、観光底びき網等）をする場合

- ( ) 利用者が網揚げ等をしている間、利用者に危険が生じないよう安全に操業します



## 別表 9 の 2

利用者の乗降場所から漁場又は漁場から漁場までの間における特に危険と認められる場所（該当箇所を記入）	
岩場	小浦港地先の平島周辺
浅瀬	小浦港地先の猪瀬
防波堤	小浦沖防波堤（全長約 76.5 メートル）
養殖施設	小浦沖わかめ養殖施設
その他	
自船の位置及び設定した航路の航行並びに避険線に基づいた航行の確認方法	
陸側の地形を確認しながら、山だてなどにより、自船と危険場所との位置を確認しながら航行します。	